

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

10

No. 213

Oct. 2015



特集:「農村地域の魅力をチャンスに活かす」
～山村エンタープライズの取り組み～

若者が踊って暮らせる農村をつくる！



特集：農村地域の魅力をチャンスに活かす

～山村エンタープライズの取組み～



今月の特集では、人口減少が加速し「限界集落」と呼ばれている、岡山県北端の美作市梶並地区では、若者の移住が年々増え、その中には、ひきこもり・ニートと呼ばれていた人たちもいる、という情報をキャッチしました。そこで、ひきこもり支援センター「あすてっぷ」のスタッフ2名でその実態を探るべく、「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」代表理事の藤井裕也さんにお話を伺いました。

過疎高齢地域に
若者を呼び込む

岡山県北部にある美作市梶並地区で、地域の人々や行政と歩調を合わせながら、独自のアイデアで地域おこしを仕掛ける藤井裕也さんを訪ねました。美作市梶並地区は、岡山県の最北端に位置しています。温暖な気候といわれる岡山県でも、冬はマイナス七度まで下がり雪に埋もれてしまうという、厳しい気候の土地です。人口七百人の集落の高齢化率六十%、四五〇軒のうち空き家は二百軒に及ぶという過疎高齢化集落です。

にある「山村シェアハウス」を尋ねました。運営母体である「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」では、二〇一二年から地域と地域外のつなぎ役として、独居高齢者の為の福祉事業、山村地域への若者の移住促進を図るための仕事づくり、地域資源を活かしたひきこもり・二ト状態にある若者自立支援など、地域課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

地域活性化のために様々なことにチャレンジしている「山村エンタープライズ」のプロジェクトについて、代表の藤井裕也さんにお話しを伺いました。

藤井裕也さんは、岡山県岡山市生まれ。小学校から大学、大学院まで同市で過ごしました。岡山大学大学



岡山市中心地から車で約二時間、山々に囲まれた、穏やかな農村地域



NPO法人山村エンタープライズ

代表理事 藤井 裕也さん

院では考古学研究を行いながら、アジア各国を中心に教育支援の活動を展開。ネパール山村での体験を機に日本の田舎暮らしに関心を持つようになり、地元岡山の田舎を回り始めました。そこで、美作市上山地区で八三〇枚の棚田を再生させようとする若者たちに出会い、地域おこし協力隊の一員として二〇一一年から限界集落を「集落」と活動を始めました。

新しい働き方を提案 アイデアを形に



地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化などが深刻化する地方に地域外の住民を受け入れ、定住・定着を目指す活動のことです。なかでも、岡山県美作市上山は、地域おこし協力隊のパワーがあり、成功例として全国各地から注目を集めている地域です。

当時、上山地区で地域おこし協力隊として活動していた藤井さんに、地域住民の有志でつくる梶並地区活性化推進委員会から、「ぜひ、藤井さんに来てほしい!」と要請を受け、一年間活動した地域おこし協力隊を離れて、梶

並地域に移住し、一人暮らしを始めました。

「自分ができる」を生かして 「仕事をつくる」という視点

藤井さんが目指したのは、地域での新しい働き方を作り出し、若者が「踊つて暮らせる」「実例を示す」とです。

地域おこし協力隊のBとともに「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」を設立し、本格的に活動を開始しました。

地域づくりは包括的に考え、教育、福祉などトータルで見ていくことが必須となります。しかし現実は、小さな地域内でさえ、分野」との縦割り行政になつており、連携は難しい状況です。

「横をつなげていくのが私たちの役割と思っています。地域づくりと教育、地域づくりと福祉といった感じですね。高齢者、独居老人をどのように地域で見守っていくか、皆が住みやすい地域をどのように作っていくのか、という課題はどの地域でも同じです。地域との繋がり、地域の中で生きます。地域との繋がり、地域の中で生きます。」



「山村シェアハウス」の活動を皮切

りに、地域でひきこもり・ニート状態にある若者を受け入れる「人おこし」プロジェクトを開始しました。数年間

ひきこもっていた同世代の若者がシニアハウスに住みながら、耕作放棄地

をシェアハウスとして活用し、都会からの移住希望者を受け入れる入口として活用するという、「山村シェアハウス」の開設です。

さらに、移住希望者の生活費を生み出すための仕事を紹介するため、「山村ハローワーク」を開設し、地元の人から頼まれた農作業や草刈り作業を請け負い、冬場には木工品作りなどを

中期間での受け入を行っています。

「ここ」の生活リズムは大事にしています。一ヶ月もいると体力がつき、朝はきちんと起きるようになります。

日々自然と接している環境ですし、シニアハウスの中で、自分の居場所を作

り、それぞれ製作所への勤務や特注品開発、古民家改修など、得意分野を生かした仕事をして生計を立てている、画期的な取り組みを開始しました。

梶並地区活性化委推進委員会との連携のもと、移住者を確実に増やしてきたおり、これまでに約三十人の移住者を呼び込んでいます。



空き家を改修してみんなで作った「山村シェアハウス」



取材時行われていた、稲刈りの様子。

自分のペースを大切に 誰もが挑戦できるチャンスがある

「私たちから無理に復帰させてい
るわけではありませんよね。自分のいい
タイミングで復帰したらいいと思
っています。ずっと居たければいいと
いうスタンスです。でも、チャンスは
タイミングを見て提供していかなけ
ればと思います。私たちのネットワー
クでなら居場所が出来ても、そこから
社会に出た時に居場所が出来なけれ
ばしんどい思いをするでしょう。だか
らなるべく外に早く出て欲しいと思
っています。ただ、基本は本人のタイ
ミングに任せています。」

最初、本人の意思で来ることはある
が、親御さんに連れて来られたり、時
には藤井さんの田の前で親子喧嘩が
始まるものもあつたそうです。

「山村ショアハウス」の仲間感覚を
大切に、無理に促すことはせず、きつ
かけを自分自身で活かすことが出来
るよう促しを行っています。

最初、本人の意思で来る」とは少な
く、親御さんに連れて来られたり、時
には藤井さんの田の前で親子喧嘩が
始まるものもあつたそうです。

「山村ショアハウス」の仲間感覚を
大切に、無理に促すことはせず、きつ
かけを自分自身で活かすことが出来
るよう促しを行っています。

「ここでは地域の中で新しい」と
をつくりていて、その実感があるの
で、仕事においても、新しいことに手
借りることが出来、十月から改修して

ヤレンジするのが楽しいのかもしれ
ないです。私たちも常に一番最先端
でやりたいと思っています。そういう
ところに共感してくれているのでは
ないでしょうか。」

介護をやりたいと言つて地域の介
護施設に就職したケースやゲーム開
発の勉強がしたい」としてその
道に進んでいったケースもあり、卒業
後の進路は様々です。

地域で育てられ、自分のやりたいこ
とを模索し、自分の居場所をつくる」
とで元気になり、自分の能力を發揮す
ることが可能となるのです。「山村シ
エアハウス」は、地域ならではの特徴
を生かすことで、「ひき」もりやニート
の若者の自信回復の場所となつたの
です。

うだけで重宝されるのだそ。地域高
齢者の御用聞きを行つ中で、電球の交
換から雪かきまで、様々なことを頼ま
れます。その頼みにしっかりと応える
経験を続けていると、自然と必要とさ
れる実感が湧き、喜びを実感し生きて
いく力にもなります。

「ひき」もりに對して存在する 地域住民の誤解や偏見

今後、「人お」とプロジェクトの拠
点となる、二十人くらい入れる建物も
借りることが出来、十月から改修して

いく予定です。しかし地域によつては、
ひき」もり状態にある若者たちを受
け入れることに抵抗があるのが現状
で、予定していた拠点を他の部落に移
動させたそつです。

「今の部落は受け入れ態勢があつ
たから大丈夫だと思いますが、彼らの
事を理解してもらつ事はきちんとや
つていいと思つています。私たち
は、今まで自由にひき」もりの若者を
受け入れてきました。その中には、地
域では受け入れられにくい若者もい
ました。発達障がいのある若者なども
受け入れてきましたが、受け入れ場面
では専門家に入つてもらい、情報共有
をしつかり行ないます。本人にとつて
良い場所になるかなと判断基準にし
て、その都度受け入れるかどうか決め
ています」



ススキが揺れ、秋の装いの山々

現在、日本におけるひきこもり・ニートと呼ばれる人は、内閣府の推計によると全国で七十万人と言われば「ひきこもり・ニート予備軍」とされる人は一五五万人との驚くべき数字も発表されています。ひきこもり状態が長期化、高齢化していることが、現在のひきこもりの特徴です。

今後、ひきこもりやニートの状態にある若者や、ひきこもり等の状態になるおそれのある若者を支援するための仕組み作りが求められています。

「県内でもひきこもりの方の受け入れをしているところもあるので、連携していきたいです。今後、彼らの働き方を広げていけたらいいですね」

失敗しないと分からぬ
「トライ＆エラー」の繰り返し

「山村シェアハウス」、それに連動するお仕事紹介の「山村ハローワーク」、「入出居」プロジェクトの他にも、「山村ワーキングホリデー」に「山村オーガニックファーム」、「民芸新時

代」など、数々の活動を同時進行しています。

『事業の基本は自分たちで考えますが、地域のネットワークにより、活動のほとんどを周囲の方々に手伝つてもらっています。今後は他の空き家も改修していくかなければならないので、スキルは地域の大工や左官、板金建築の人などを先生として教えてもらっています。電気や下水以外は、ほぼ全て手作りです。「こんなことがしたい」と周りに声に出して伝えてい

くと、なぜかみんなが助けてくれるんです。学生上がりで経験がない分、苦労もしましたけど、失敗しないとわからないこともたくさんあります。「トライ＆エラー」を繰り返してきました。

地域おこし協力隊の中ではナンバーワンじゃないかな、っていうくらい失敗しましたよ(笑)。でも、今一緒に事業をしているスタッフは、自分のブランドを持つている「デザイナー」や、プロのカメラマンという、奇跡的なスタッフが集まりました。地域と人に支えられて、今があると思っています。

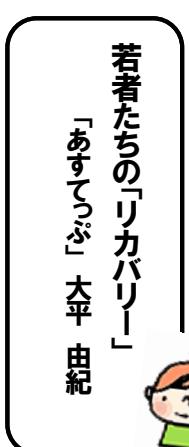
山村に入ってくる若者と、それを受け入れる地域住民、行政のサポートが一緒になって取り組むからこそ、地域

活性化のための様々なチャレンジが出来るのです。過疎地区に抱える問題の中から価値を見出し、チャンスに変えていくための新しい取組みを次々と形にしていく藤井さんの強いパワーが、更に新たな若者を呼び寄せていくことを実感することができました。



若者たちの「リカバリー」

「あすてっぷ」 太平 由紀



様々な思いが交錯するなか、確かに感じた高揚感を胸に美作を後にしてました。

「トライ＆エラー」で
新しい「ヒト」チャレンジ!
「あすてっぷ」 丸橋 由希恵



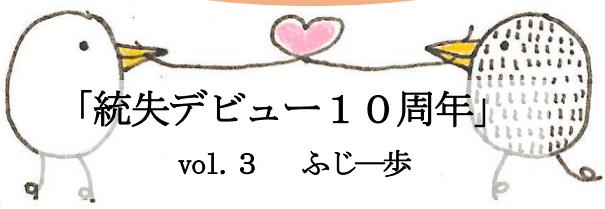
本当に田舎で若者たちが活動しているのか?といふのが最初の感想でした

のか?ともたくさんあります。「トライ＆エラー」を繰り返してきました。藤井さんとお話しを伺つて、新しい何かが生み出されるその過程を垣間見た感覚になり、ワクワクしました。自然の力を借りながら、それぞれが秘めている力を発見し、磨き、元気になつてそれぞれの道に進んでいく、その過程はまさにあすな福社会の理念「Hope & Recovery」でした。そして私たちのできることが何なのか?とは何か?夕暮れ時、

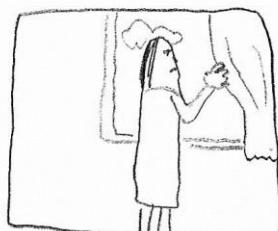
静かに、心地よい音楽とともに、この場所で過ごす時間は、本当に貴重なものでした。感謝の言葉を述べながら、またいつかお会いできる日を心待ちにしています。



投稿コーナー



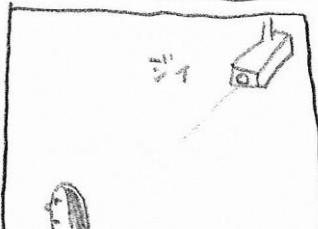
世界が



大型の舞台セット
に思える



かくしカメラで
撮影されていて
どこかで皆が見ている
気がする



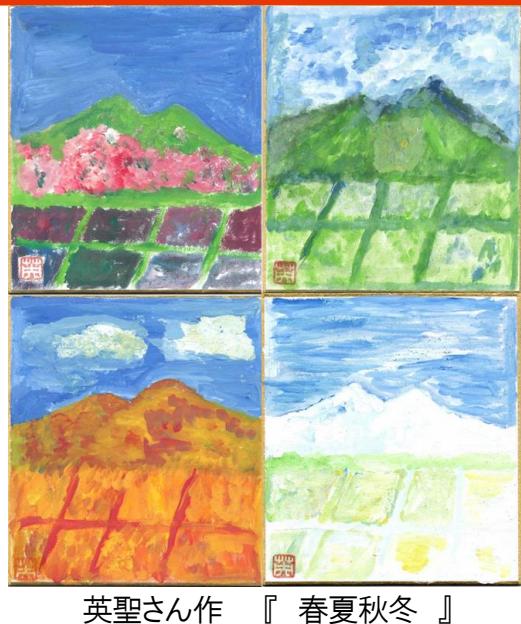
世界にいただけ
の主人公みたいだ



ゆえにテロリストなどの凶悪犯罪者に
対しては、厳しい罰則を与える。そして
場合によっては、彼らを死刑にすること
もやむを得ないとする。国民の大多数が
「テロリストは死刑に処してもいい」と
考へているとすれば、実際政府はその國
民の意思に沿って、テロリストを死刑に
処するだろう。だが国民の意思が、自分
たちに害を与える者に対して、問答無用
にそれを排除するような動きを示すこと
になつたらどうだろう？しかもその動
きが民主主義のルールにのつとつたもの
だったとしたら？

それは民主主義ではないというひとも
いるだろう。だがこれも民主主義の姿な
のである。（次回に続く）

朝夕と日中の温度差があり、長袖の服を着ることが
増えて、秋だな～と思いました（^ u ^）
温かいものも美味しい季節になってきましたね♪
みなさんは何で秋を感じましたか？



英聖さん作 『春夏秋冬』

『ぼくたち、わたしたちの希望のうた』

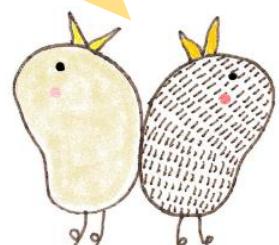
みんな希望を持って楽しく行こう
未来に向かって行こう
ぼくたち、わたしたち楽しく行くよ
希望を持って、楽しくね
みんなで希望を持って行こうよ
ハハーああーぼくたち、わたしたち希望のうたよ
作詞 ハニイ



「歌番組を見ました。私は今、歌番組には
まっています。」 坂本友加より

ぱるつこ広場

ぱるつこ広場



感想・投稿 募集中！
詩、俳句、絵、ジャンル不問
です。郵便、メール fax 等で
ご投稿 下さい♪待ってます★

古樂日和 こがくひより

藤井健喜

先月号で『大脱出』という映画についての個人的な感想を述べた。このとき筆者は、この映画は資本主義と民主主義のあり方について問い合わせる作品だと書いた。そこで今回は資本主義と民主主義について考えてみたい。

そもそも資本主義というのは、さまざま事業をおこなうために資金を集め、その資金を元手として事業をおこない、それを社会の発展のために活かしてゆくというシステムである。ここでいう社会の発展とは、すなわち世の中に暮らしているひとたちが、幸福に生活していくようになることだ。であるから社会の発展を阻害するものに対しては、これに対抗しなければならない。ひとびとを不幸に陥れるひとや事柄は、そのもつともたるものである。

ゆえにテロリストなどの凶悪犯罪者に対するは、厳しい罰則を与える。そして場合によっては、彼らを死刑にすることもやむを得ないとする。国民の大多数が「テロリストは死刑に処してもいい」と考へているとすれば、実際政府はその國民の意思に沿って、テロリストを死刑に処するだろう。だが国民の意思が、自分たちに害を与える者に対して、問答無用にそれを排除するような動きを示すことになつたらどうだろう？しかもその動きが民主主義のルールにのつとつたものだったとしたら？

それは民主主義ではないというひともいるだろう。だがこれも民主主義の姿なのである。（次回に続く）



ちようフェス 通信

第13回実行委員会開催！

ついに目前と迫ってきた『調子はえーんじゃフェスティバル』ですが、9月15日、きらめきプラザにて第13回実行委員会が開かれました。所属を越え、岡山県内に住む当事者・支援者など14名が集まりました！

各班の進行状況を報告…！

- ・**ムービー班**…「ありがとう2～愛を伝える映画」完成に向けて編集作業を行っています。追加の映像や音楽を撮りに行っています。10月末に試写会予定。
- ・**出し物・出店・展示班**…出し物希望が9カ所、出店が12カ所となりました。10月1日に出店者向けに現地(旧内山下小学校)にて説明会を開催しました。
- ・**講演・シンポジウム班**…現在シンポジウム「私色の元気の紙飛行機を飛ばそう」にて「こんなことをしたら調子がええこと」を公募にて募集を行っています。紙飛行機の飛ばし方について、実際に飛ばしたほうがいいか、壁に貼って共有できるようにした方がいいのか熱く話し合われました。シンポジスト(家族の方1名、精神科医1名)が決定しました！現在当事者3名を調整中です。

場所の使い方を話し合ったよ

体育館にて舞台イベント、講演会、シンポジウムを行い、旧校舎2階で飲食の販売や作品展示販売を行い、3階では、映画上映に当事者の交流スペースを設置しようと具体的な場所ふりとスケジュールを話し合いました。

オープニングは「うらじや」に決定！フィナーレは・・・

オープニングは「うらじや」を踊ってもらうことに決定しました！熱い開幕となります♪ フィナーレについては、自主制作映画「ありがとう2」の主題歌を歌つて下さっている oyuu(おゆう)さんに歌って頂こうということになりました！

今後の活動についてチサポーター募集中！！

- ☆ムービー班：10月13日(火)16:30～編集会議 ジョブサポートセンターあすなろにて
- ☆出し物・展示・出店班：11月5日(木)16:30～(予定) ぱる・おかやまにて
- ☆講演・シンポジウム班：10月30日(金)10:00～ぱる・おかやまにて

★ボランティア・サポーター向けに説明会を開催！10月31日(土)13:30～

ボランティアに関する問い合わせ先→万成病院 柏原・菅原まで(tel086-252-2261)

11月15日当日(内山下小学校)の「出店まだまだ大募集!!」

次回実行委員は10月27日(火)13:30～きらめきプラザです。

フットサル 全国大会を終えて…

一〇月三日(土)に名古屋のテバ・オーシャンアリーナで第一回ソーシャルフットボール全国大会が行われました。今回は『岡山県精神障害者フットサル普及検討会』のあすなろスタッフと選手としてあすなろメンバーが参加してきました。現地の天候も良く選手たちのコニディションも好調でした。

いよいよ初めての計三試合の公式戦。初戦及び二試合目は惜しくも敗れ、決勝トーナメントに上がれませんでしたが、予選リーグ内で三位決定戦を行いました。

最後の試合という事でみんなの緊張も少し落ち着き、攻守ともに良い試合となりました。試合は一対一ともつれPKとなりましたが、キーパーのファインセーブもあり、二対一でPK戦を制し、初勝利を飾る」とが出来ました。

全試合を終えて、「スッキリした」「課題が残ったと感じた」等の思いがみんなから出てきました。「でもやつぱり負けたら悔しい、勝つたらうれしかった」という思いははみんな同じでした。

まだ岡山の精神障害者のフットサルは始まつたばかり。まだまだこれからです。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。また来年も楽しみにしています。



申込用紙は
あすなろに
置いてます！

~お問い合わせ~

担当：大平、岡田、山口

TEL : 086-201-1432

リベンジ

やまのぼり

例年多くの方が楽しみにされている山登りですが、今年は立て続けに悪天候に見舞われ、山に登れないことが続いてしまいました。そこで、再度一〇月に山登りを計画致しました。

◆平成二七年一〇月二一日(水)

◆集合は、表町九時。又は本部九時一五分。

◆本部出発九時半。(九時一五分から点呼)

◆行先は佐伯天神山。

◆参加費は無料。事前申し込み要。

◆持ち物は、**昼食と飲み物**(五百ミリリットル以上)、レジャーシート。

◆雨天の場合、中止。(中止の場合は個々に連絡します。)

◆コースは選択できます。

①急登チャレンジコース。(必ず運動靴とリュックサックをご用意ください)
②のんびりコース



ぶどう狩り～あすなろ家族の会主催～

十月二日（金）に毎年恒例の「ぶどう狩り」を開催しました。参加者は、家族会の方が七名、メンバーが二十三名、他職員等が八名の総勢三十八名と多くの方が参加されました。この日のために、とてもおいしこうを作つて下さったのは「あすなろ家族」の会会長の小森さんです。普段はなかなかできないぶどうの食べ比べもできました。オーロラ

ブラツク、ピオーネ、桃太郎ぶどう、マネキユアフィンガー、シャイン、マスカット等たくさんの種類のぶどうを頂くことができました。さらに団子入りの豚汁振る舞われました。食前にぶどうを食べ、おにぎりと豚汁でお腹を満たした後にも、デザートでぶどうとなんともぜいたくな食事をみんなで楽しくいただきました。今回も多くの方を受け入れて下さった小森さん、本当にありがとうございました。

「焼き菓子と雑貨」MOMO

中止下記のOPENしました。



New OPEN !



「焼き菓子と雑貨MOMO」では、美味しい焼き菓子、素敵な雑貨を「用意しています。皆さまぜひお越し下さい！」そしてCafeMOMOでは「好評により現在**五〇〇円ランチ**も提供しています。美味しい「コーヒーもあり★メンバーも募集中です♪

CafeMOMO焼き菓子部門が中
山下へ移動ついにOPENしまし
た！九月に行いました見学会にお越し
くださいました皆様、ありがとうございました
た●見学会イベント三日間の丑〇〇田ラ
ンチも大好評で連日完売でした。

声が上がつていて
感じました。また
ような素敵な交流
きればと思います
「びいあらいぶ」
皆さん本当にあり
と「」をこました。

テーマを振り返つていただきたいと思いま
す。また『皆さんにとって出会いとは
?』とこうテーマを共有(おしゃべり)し
来たらと思います。今まで参加さ
れた方は勿論、多くの方の御参加を
御待ちしています。

◆次回予定◆◆◆◆◆

10月14日(水)13時～

多くの方の御参加を心からお待ちしています。見学・途中

参加も歓迎です！
＊他の参加者を批判したり
改善を強要しない事を第一
のルールにしています

びいあらいぶとの交流会

九月三〇日(水)八名の参加で『癒し場』を開催しま

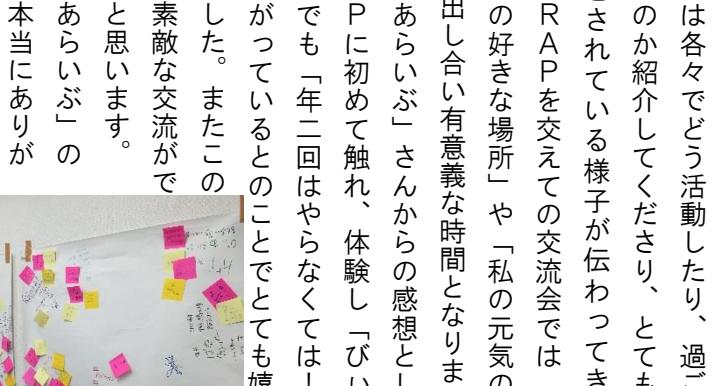
ました。話

九月一八日（金）、福山の特定非営利活動法人「びい あらいぶ」さんがスタッフを含め約三〇名で来られ、あすなろ福祉会を見学した後、「ピアセンタークローバー」のピアソポーターと、倉敷にある「小規模作業所 集いの杜まりも」のピアスタッフとで各事業所の紹介をし合い、WRAP（らつぶ：元気回復行動プラン）を交えての交流会

を催しましたー

あすなる福祉社会とは古くからの縁もある、「びい あらいぶ」さんですが事業所の紹介では各々でどう活動したり、過「され」ているのか紹介してくださり、とても生き生きとされている様子が伝わってきました。WRAPを交えての交流会では「自分の地域の好きな場所」や「私の元気の道具箱」を出し合い有意義な時間となりました。「びい あらいぶ」さんからの感想として、WRAPに初めて触れ、体験し「びい あらいぶ」でも「年二回はやらなくては!」と声が上がっているとのことでとても嬉しく感じました。またこのような素敵なお交流ができればと思います。

「びい あらいぶ」の皆さん本当にありがとうございました。



九月三〇日(水)八名の参加で『癒し場』を開催しました。話したかったテーマは、『一人になった時に気分をあげる方法を教えて欲しい』『他人からの誤解を、どう対処したら良いの?』『ダイエッ...ト...』『みんなの趣味は?』『家族とのトラブルが多い、家族って何なの?』の5つでした。そこで今月はイトコサガシをお休みをして、みんなで『家族と上手くいかない人に対して一言』を出し合いました。『自分は自分、家族は家族、親は親』よそはよそ、うちはうち(笑)『貴方は貴方の人生を歩んだら良いのですよ』『マイペースでいい』『いつか自立しよう』『距離をとりたければとり、近くなりなければ近付き自分でやる』『家族は生まれつきの他人である』『幸せになりましょう』と、それぞれの過去や境遇からくる個性溢れる言葉が色々と出ました。また皆さんに『秋と言えば○○』を挙げて頂きました。『スポーツ観戦の秋(F1、プロ野球、フィギュアスケートなど)』『BBQ』『紅葉を見る(一番は白川郷、身近では後楽園)』『食欲の秋(焼きいも、焼かないけど炊飯器を使ってぶかす)』『塩さんま(醤油も大根も無くて良く、内臓も含め限界まで食べれる)』『睡眠の秋(10時から眠くなる)』『温泉に行きたい(近場のシーサイド温泉が大好き)』などの発言がありました。おかげさまで一〇月で『癒し場』は一周年を迎えました。これまで参加して頂いた方一人一人のおかけです、心から有難うございます。そこで一〇月の『癒し場』は、あすなろから出て野外でマジコラバーベキューパーティーをしたいと思います。そして今まで皆さんから出して頂き、話し合ったテーマを振り返つていきたいと思います。また『皆さんにとって出来いとは?』『どうテーマを共有(おしゃべり)出来たらと思っています。今まで参加された方は勿論、多くの方の御参加を

INFORMATION

10月の予定

10月				
9	金	ソフトボール 15 時		
10	土			
11	日			
12	月	体育の日		
13	火	芸術活動 13 時		
14	水	WRAP10 時 癒し場 13 時 つどい 13 時 30 分		
15	木			
16	金	図書館サークル 10 時 ソフトボール 15 時		
17	土	眼鏡っこ 13 時 30 分		
18	日			
19	月			
20	火	卓球サークル 13 時あすなろ出発 13 時 30 分現地集合		
21	水	山登り		
22	木	お菓子づくりサークル 13 時		
23	金	*スタッフ研修のためお休みします*		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火	芸術活動 13 時		
28	水	WRAP10 時		
29	木	女子会 14 時		
30	金	手芸サークル 13 時 ソフトボール 15 時		
31	土	手話サロン 11時 お抹茶教室 14 時 鉄っちゃんサークル 13 時		
11月				
1	日			
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金	ソフトボール 15 時		

*プログラム・サークル活動に参加するには、すべて前日までに連絡が必要になります。参加者が多い場合には前日より早く締切させていただくこともあります。

早めにご連絡ください！！

*日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町3-7-27
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

9・16・30・11月6日(金)

●◎○ ソフトボール ○◎●

みんなで楽しみながら、外で体を動かそう(^o^)

時間 15 時～17 時

場所 百間川グラウンド

*送迎希望の方は必ず事前連絡を！

*自転車やバイクでのグランドへの乗り入れはご遠慮ください。

めがね
17日(土) 眼鏡っこ Art of Asunaro

漫画・小説・絵・詩などを書くこと
読むのが好きな人の集い★

自分が書いたり、描いたりしたものを誰かに見てもらいたい人や、見たり読んだりするのが好きだから作品を是非見たいという人集まれ～♪
もちろん眼鏡なくてもOK！

時間 13 時 30 分～

場所 ジョブサポートセンターあすなろ

14日(水) 愈し場

発達障害・人間関係で悩んでいる人のいやし場

自分を受け入れてくれる誰かを探していませんか？

時間 13 時～

場所 ジョブサポートセンターあすなろ

21日(水) 佐伯天神山にみんなで行こう♪

リベンジ！！！！

* * * 山登り * * *

集合場所と時間 あすなろ表町 9時

中区浜本部 9時15分

*帰りは 15 時頃、本部に帰着予定

山登りの場所 佐伯天神山

参加費 無料

申込み締切 10月14日(水)

<10月のピア電話相談日>

	火	水	木	金	土
AM	6	7	8	9	10
PM	○	休	○	○	○
AM	13	14	15	16	17
PM	○	休	○	○	○
AM	20	21	22	23	24
PM	○	休	○	休	休
AM	27	28	29	30	31
PM	○	休	○	休	○

ピア電話相談とは
同じような病気の経験をしたピサポーター^{グループクローバー}が、お電話であなたのお悩みをお聞きしています

ピア
電話相談
(086)
201-1719



お気軽におかげ下さい！